

癌化学療法 投与計画書 （新規・変更）

カルテ番号
氏 名
生年月日
性別

提出日

主治医:

病名:再発又は難治性の多発性骨髄腫
患者本人へ説明した内容:

プロトコール名: TAL【B法: Q2W】漸増期

クール目
開始日
次回予定日

身長(cm)	体重(kg)	体表面積(m ²)
		0.000

確認事項

- ☐ 免疫調節薬、プロテアソーム阻害剤及び抗CD38モノクローナル抗体を含む少なくとも3つの標準的治療が無効又は治療後に再発した患者を対象とする。
- ☐ 副作用の回復期間を考慮して、前回投与からの間隔を最大7日まで延長することができる。
- ☐ CRS、ICANSのリスクがあるため、漸増期投与後の48時間は入院管理で行うこと。

	薬品名	プロトコール標準量	投与量	経路	点滴時間・速度	コメント	DAY 1	...	DAY 4	...	DAY 7	...	DAY 10
							1月0日	...	1月3日	...	1月6日	...	1月9日
1	レナデックス錠(4mg)	16mg/body	16mg	経口		タービー投与1~3時間前に内服	○		○		○		○
	レスタミンコーワ錠(10mg)		5錠	経口			○		○		○		○
	カロナール錠(200mg)		4錠	経口			○		○		○		○
2	タービー	0.01mg/kg		皮下注			○						0.mg
		0.06mg/kg		皮下注					○				.mg
		0.4mg/kg		皮下注							○		.mg
		0.8mg/kg		皮下注								○	.mg

※網掛け部分にご記入ください。

1サイクル: 24日
投与日: day1.4.7.10

※何らかの理由により予定された投与が遅れた際には、別シート(休薬後の再開方法)記載の再開方法を確認すること。

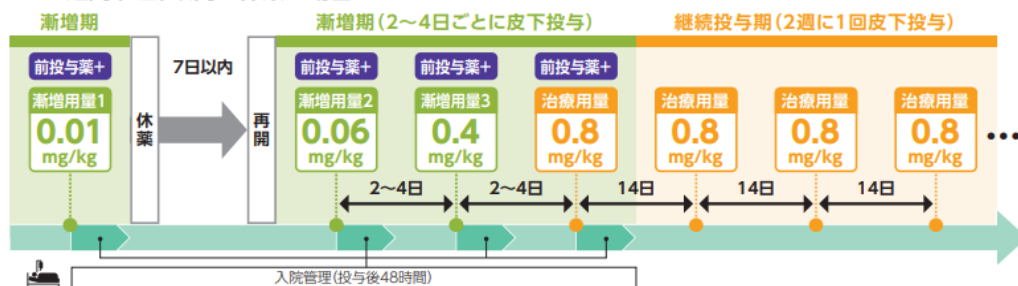
《注意事項》

- 1.この計画書は、初回投与までに提出してください。提出のない場合は、混注対象外とします。
- 2.計画を変更する場合は、その都度、計画書を提出してください。

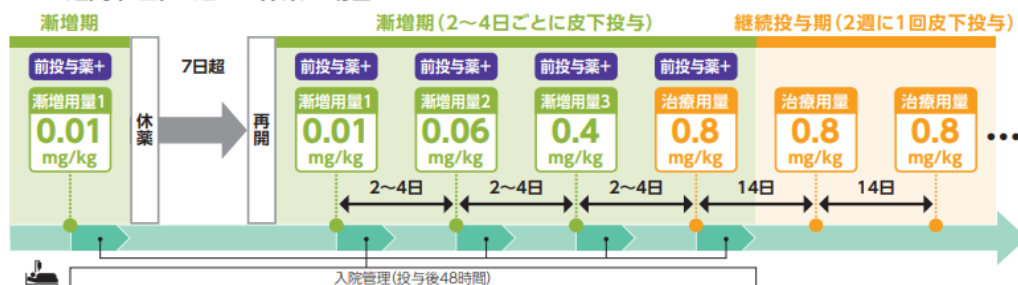
※投薬上の注意などありましたら、ご指示下さい。

①休薬直前の用量：漸増用量1 (0.01mg/kg)

<1週間(7日)以内の休薬の場合>

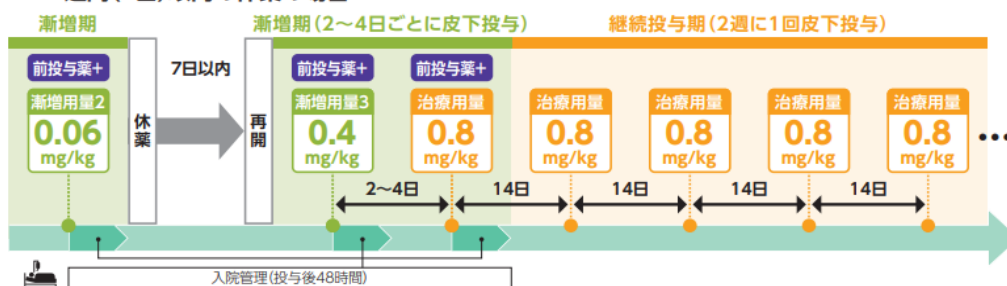


<1週間(7日)を超える休薬の場合>



②休薬直前の用量：漸増用量2 (0.06mg/kg)

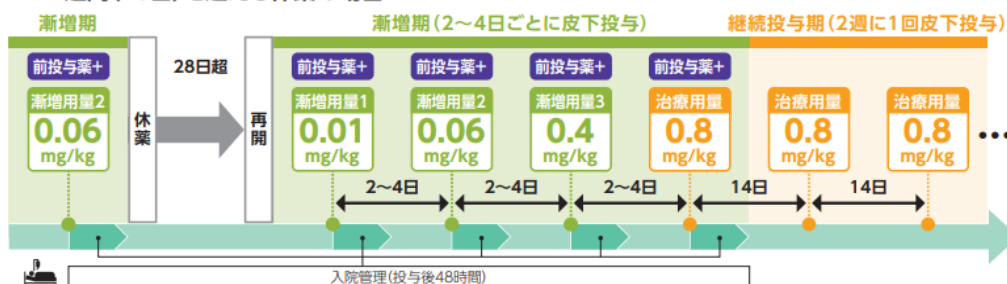
<1週間(7日)以内の休薬の場合>



<1週間(7日)を超え、4週間(28日)以内の休薬の場合>

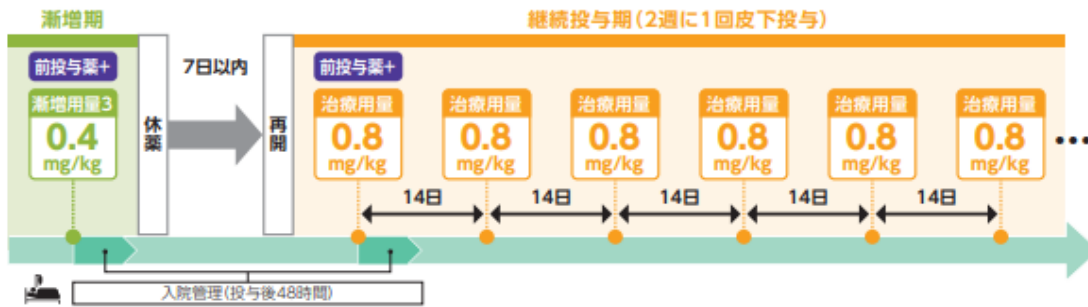


<4週間(28日)を超える休薬の場合>

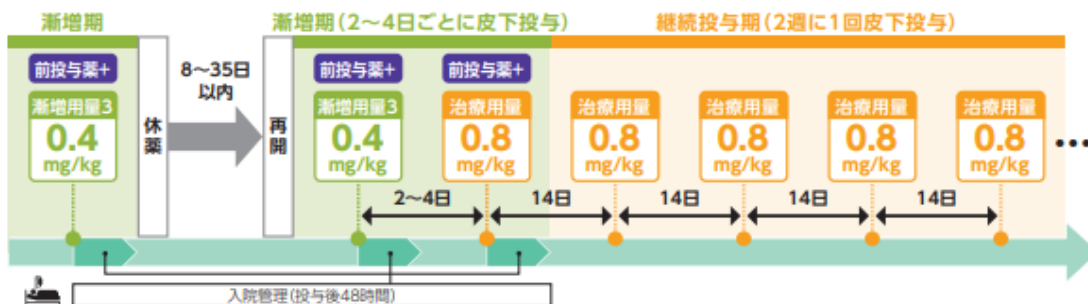


③休薬直前の用量：漸増用量3 (0.4mg/kg)

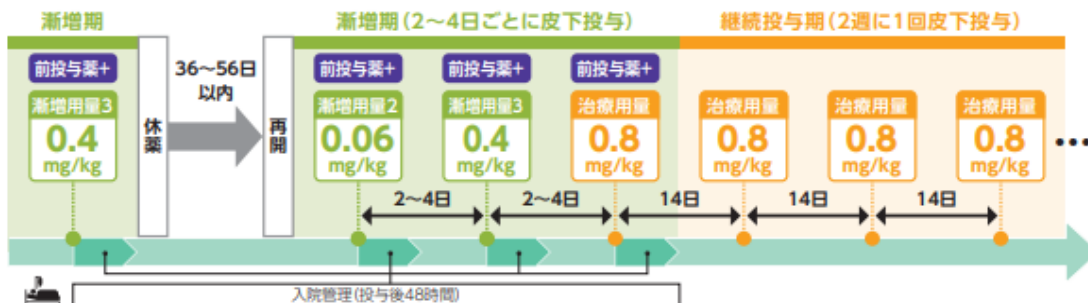
<1週間(7日)以内の休薬の場合>



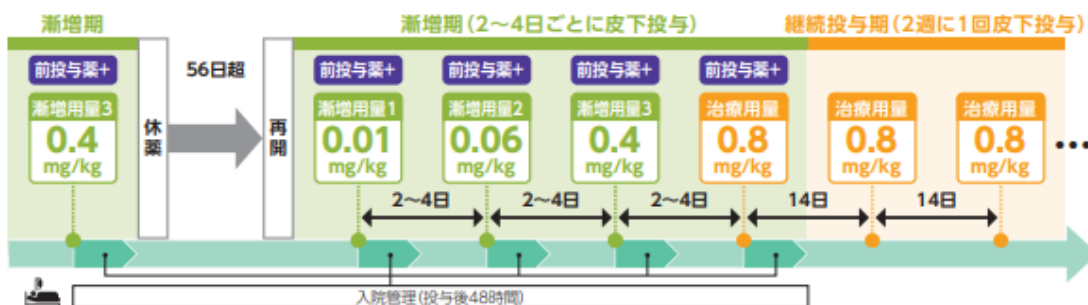
<1週間(7日)を超え、5週間(35日)以内の休薬の場合>



<5週間(35日)を超え、8週間(56日)以内の休薬の場合>



<8週間(56日)を超える休薬の場合>



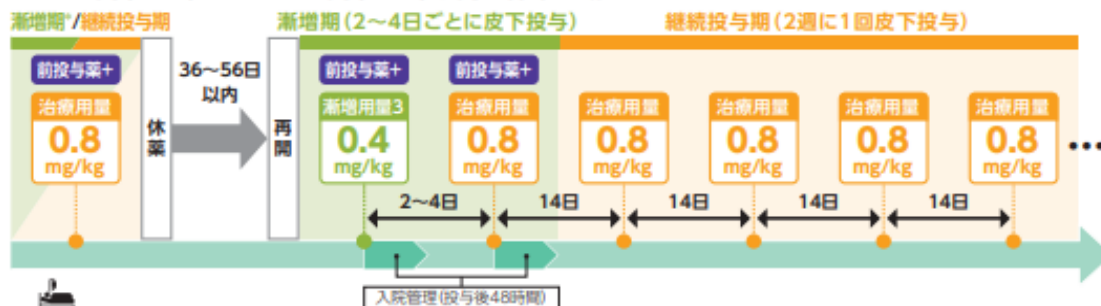
④休薬直前の用量：治療用量(0.8mg/kg)

<5週間(35日)以内の休薬の場合>

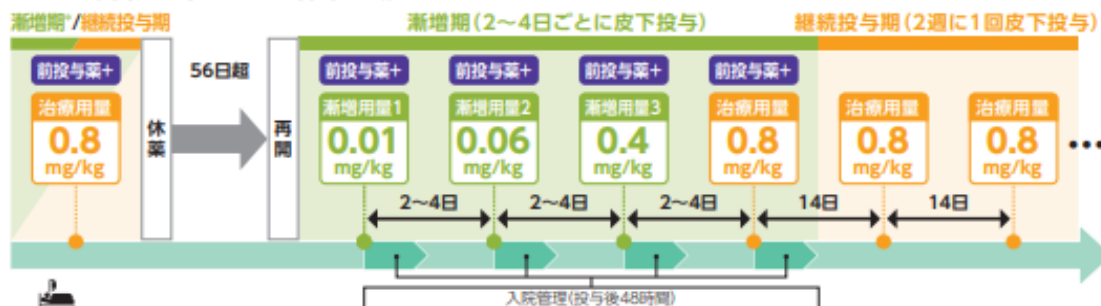


※CRSによる休薬後に投与再開する場合は、次回の本剤投与開始前に前投与薬の投与を行ってください。

<5週間(35日)を超え、8週間(56日)以内の休薬の場合>



<8週間(56日)を超える休薬の場合>



※ 休薬前の漸増期における治療用量 (投与4回目) の場合は入院管理 (投与後48時間) の検討及び前投与薬の投与を行ってください。

1

1